全日本年金者組合
神奈川県本部
〒231-0032 横浜市中区不老町2-8不二ビル2F
TEL：045-663-4061 FAX：045-663-4062
メール：info@nenkinkanagawa.com

6月30日現勢　組合員 10,833人　機関紙 6,304部　新署名 16,916筆

年金者しんぶん

神奈川県版　第364号　2018年7月15日
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
TEL.03(5978)2751　FAX.03(5978)2777
発行人 冨田浩康　月刊1部100円　送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

人生の歯車が少し狂っただけで悲運な老後が。国の施策に怒り

250人以上が参加した第5回口頭弁論。東京地裁に入る原告団(6月27日・水)

裁判傍聴記

裁判の傍聴は初めてなので興味津々で第5回口頭弁論に立ち会いました。

傍聴券を手に入れるのに応募者が多く大変な思いでした。

103号法廷に入るとTV等で観るのと同じで裁判長席など、初めての光景ではない感じがしたが張り詰めた緊張感は伝わって来た。

裁判長が入廷すると自然と立ち上がって礼をする自分の行動が不思議で何かに刷り込まれていたのかも。

井上弁護士の話は時間の関係か早口で内容は聞き取れなかったが熱意は伝わっていました。

森實桂子・露木茂子さんの陳述には泣かされました。

人生をふしだら・いい加減に過ごしたわけではなく懸命に・真面目に歩んで来たのに人生の歯車が少し狂っただけでこんな悲運な老後を送らねばと思うと国の福祉に怒りがこみ上げてきました。

多くの高齢者の話を聞くと年金は人生最後の命綱と思う。このような人生は若い人達にも起こるので年金引き下げには抵抗せざるをえない。（青木昭弘）

3年連続で最優秀賞獲得
機関紙コンクール 県本部機関紙

「動けば増える」原則不変だった「春の月間」

「春の仲間増やし月間」（4、5、6月）は、目標を持った49支部が全て成果を上げ、結果、13支部で自主目標を達成、多くがあと一歩まで迫りました。かつての爆発的な行動は見られなかったものの、昨年6月の中央本部、9月の県本部両大会時の組合員数を回復、超える1万833人の組合員になりました。「動けば増える」という「原則」が変わらないことが示されました。

原告意見陳述

露木茂子さん

食事や入浴を減らし生活

私は年金も12年かけ、主人が軍人恩給受給者なので、老後は安心と考えていましたが現実は全く違いました。

私は現在87歳、受給しているのは一カ月、7万円ほどです。

そのわずかな年金から介護保険料や高齢者医療保険料を引かれています。

現在は裁判所まで来ることが出来ますが、いつまで続くか不明です。

今は食事や、入浴も減らしています。

自宅なので生きていけるのだと思いますが、自宅があるので、生活保護を受給出来ません。

憲法には「最低限の生活を営む権利を有する。」とあるはずです。政府は低年金者の暮らしがどれほど大変か知ってほしい。年金は絶対に引き下げないで下さい。

森實桂子さん

離婚した息子が戻ってきて

私は77歳です。

高校を卒業して月8000円の給料から年金保険料を払ってきました。その後、同僚の夫と結婚、夫は独立しましたがオイルショックで倒産。夫とは離婚、2人の子供を女一人で育て、何とか国民年金を納めてきました。

子供達も学校を卒業したので、再婚して人生をやり直すことに、結婚すると夫は生活を省みず、年金保険料の支払いも厳しくなりました。

60歳で年金を受給しましたが息子が離婚してもどってきて私に入れる金は無く、私がアルバイトをしても生活は苦しく管理費や電気代を滞納し。病院にも行けませんので年金が引き下げられるのはとてもつらいです。

国民の生活を考え正しい判決をして下さい。

現役と高齢者を対立させるまやかしの世代間公平論 <下>

年金裁判弁護団 藤塚雄大 弁護士

世代間公平論は、国により現役世代と受給世代の分断を図るべく持ち出されたものとしか思えません。

国は不公平感により納付をしない者が増えることで年金制度が崩壊するといいます。たしかに、年金制度への不安は現に存在はしますが、これは支給額低下によってこそ起きているものではないでしょうか。

また、国は年金受給権を、「単なる期待感にすぎない」などと驚愕の主張をしていますが、このような年金軽視の国の態度も、制度不信を招いているものと指摘せざるを得ません。

3 少子高齢化のつけを年金受給者に回すことの不合理

国は、少子高齢化を年金減額の合理性を支える事情の一つとして主張しています。しかし、国は以前から少子高齢化を予測しており、制度設計はこれを踏まえていたはずですから、年金減額の理由になどなるわけがありません。

そもそも少子高齢化は単なる政府の失策です。少子高齢化によって起きた問題を、何の落ち度もない年金受給者に対する給付を減額することで解決することは不合理極まりません。

4 私たちは、国によって仕掛けられた分断の試みを乗り越えなければなりません

私たちからすると、一見して成り立たない反論であっても、市民の多くは国の主張の問題点に気づけてすらいないものと思われます。呆れた論理にも丁寧に反論をし、現受給額の低下は将来の受給額の低下に直結することを広く知らしめて現役世代を巻き込んだ運動を展開する必要があると思われるところです。

法廷内外でともに頑張りましょう。

好奇心

ワールドカップ日本戦や大阪北部地震の最中、地元の記者に限定した加計孝太郎の会見。出てきて喋ればいいというものではない。今の政治家と同じで「時がたてば忘れる」と思っているのか。姑息、卑劣、怒り心頭▼日大アメフト部悪質タックル問題では事実上、監督はアメフト界から追放された。世間はそう甘くない。その場は凌げても疑惑は晴れない。世論調査で7割が加計問題で「納得できない」。「偏向的新聞は大嫌い。帰ってください」72年佐藤栄作の記者締め出しの退陣会見を思い出す▼公文書の隠ぺい、改ざん、廃棄、虚偽答弁と戦後かってない国政の私物化で国民を欺いてきた政権。国民の声を無視したうえ会期延長で次々悪法を押し通した。「ロスタイムの間下手な失点がないように」失点は財務大臣お前だろう。「前に進めてください」「新しい獣医大学の考えはいいね」は立派な関与だがまだ辞めない安倍▼安倍政権発足以来5年半、秘密保護法・戦争法・共謀罪を矢継ぎ早に強行。放送法4条の撤廃をちらつかせ、メディアに「忖度」までさせようとしながら9条改憲へと準備を進めている。野党と市民の共闘と連携で退陣に追い込もうではないか。（妖光）

透かしを削除する Wondershare PDFelement

私の支部自慢 Vol.16

横浜市栄区　座間

人気の歌声サロン

横浜栄支部

第三木曜日の午後、公田団地の集会所に『うたごえサロン』が開店。アコ2、ギター2種類、ウクレレと伴奏陣が多彩。そして間もなく十周年を迎えます。がんと闘っていた女性は「ここに来れば元気になれる」と話し参加し続けました。決まって『東京音頭』をリクエストしていました。進行役は歌のエピソードを紹介し参加者も得した気分になります。

地元の保育園児が訪問し合唱を披露してくれ、園児とのほほえましい交流が実現しました。

（吉田弘文）

春と秋のバス旅行

座間支部

春と秋に「日帰りバス旅行」をしています**＝写真**。運賃も上がり中型バスで近場に行くのがやっとですが何とかやっています。

サークルは5つと少ないですが、2ヶ月毎の「里山の会」は春の花見、夏のバーベキューなど参加者が増えつつあります。「歌う会」の参加者が最も多く、6月はうたごえ喫茶の集いとして50人くらい集まる予定です。

「映画の会」、「川柳の会」、新規の「カラオケ愛好会」も頑張っています。

（坂本　稔）

世田谷から宮前に移動の本多書記長
立て直しに悩むも前向きに
奥さんも会計を手伝う

川崎　宮前支部

4月に開かれた総会

今年4月の総会であたらしく書記長に就任された本多甲子夫さん。

現役時代は世田谷の郵政労組で活躍。住まいのある宮前支部に移籍。支部が高齢化などで大変だと聞き書記長を引き受けたものの、長期間世田谷で活動していたため、宮前の方々とは面識なし。どうやって組織を立て直せばいいかと悩んだという。

役員会で名簿をチェックすると長期の未納者、連絡できない方が多くいたことがわかり、思い切って名簿を整理。新しく増やしていこうと行動をはじめた。

会計のSさんが体調を崩したため、会計とSさんの担当だった配達・集金を引き受けたものの、会計と書記長の両立は大変。奥さんの千代子さんを組合員に誘い、同時に会計を引き受けてもらい立て直しに力を入れ始めた。各種友好団体を中心に声をかけ59人から67人に増えた。来年の総会では100人にと目標をたて頑張っている。

本多さんに力をくれたのは、交流会や機関紙などで聞いた各支部の経験。一人暮らしの方々に声をかけサークルなどで楽しくすごしてもらいたいと今日も頑張っています。（大蔵敦子）

「さわやか」は私の記念日
"余韻"残る内に加入しました

「さわやか女性のつどい」に沖縄のシンガーソングライターのユキヒロさんが出演するからと誘われ、二つ返事で参加を決めました。

ユキヒロさんのHEIWAの鐘は藤沢合唱団30周年記念コンサートでの演奏曲の一つでも有ります。本人の声をじかに500円で聴けるとは…。

第一部、ユキヒロさんの若々しい澄んだ歌声とトークには魅了されました。

感動の余韻が残っている内にと、その場で加入の申込書を出しました。この日は、私の新たな記念日となりました。

県内の仲間の笑顔に触れ、改めて心が癒され満喫した一日でした。

（藤沢　藤間りよ子）

あなたの知らない若き日のちひろに会いに来ませんか

前進座公演

―ちひろ―
私、絵と結婚するの

いわさきちひろ生誕100年

12月25日(火)　関内ホールにて

「ちひろ」生誕100年の今年、敗戦直後の1946年から49年頃の激動の時代に焦点をあて、なぜ「ちひろ」が子どもたちのしあわせと平和を願って絵筆を握り続けたのか、「ちひろ」がその生き方を決めた原点をみつめなおします。

神奈川年金者組合が前進座から依頼を受け、実行委員会を開き、公演に取り組みます。詳細は後日お知らせしますが、ぜひ当日の予定に入れておいてください。

わがまちのハナ花はな

「移り気」な心模様のようなアジサイ

うっとうしい長雨を吸いこむように爽やかな白色から少しずつ色を浮き上がらせるアジサイ。次第に鮮やかな色へと変わっていきます。その定まらない色はまるで七変化です。

県内にはアジサイの名所が多くありますが、鎌倉方面は観光客で連日賑わっています。

今年は開花が早くてもう見ごろを過ぎている場所もありますが、先月下旬に箱根に行ったらまだ咲きはじめでした。「しんぶん」が手元に届くころは見ごろかもしれません。

▼お詫びと訂正

前号一面の「全盲でもダンス楽しんでいます」写真説明で稲橋さんとあるのは**大野洋子さん**の誤りでした。また「見方180°変えてくれた『さわやか』」写真説明の川崎麻生支部は**川崎ブロック**の誤りでした。訂正してお詫びします。

神奈川年金者文芸

文芸作品募集　作品と住所、氏名、TELを添え、俳句、川柳、絵手紙等を明記。文芸欄まで。FAX・メール可。毎月22日締切。

（俳句）

時の日や余命を刻む針の音　秦野支部　松村　暻一

久々の親子のお茶に葛桜　秦野支部　高城千恵子

粽（ちまき）解く隈笹（くまざさ）の葉の初初（ういうい）し　保土ケ谷支部　緑　水

法要の錦の袈裟や薄暑光　保土ケ谷支部　一　子

紫陽花にほてりし顔をうづめたり　保土ケ谷支部　庄　五

青柿のそっと身を寄す葉の裏に　逗葉支部　梅川　正誠

紫陽花の褪せぬ藍色いつまでも　逗葉支部　長谷川紀美子

かえりみて夏の夕影ながながと　逗葉支部　熊谷　直子

病床の妻に代りてバラ手入れ　戸塚支部　大塚　頼雄

雨休み無言で爪を切りたる日　愛川支部　田邊　千代

（川柳）

情けなやセクハラあふれの世の中よ　横浜緑支部　古野　幸子

申告書出した後から深刻だ　横浜緑支部　菊谷　博明

支え合いようよう立てる年金者　愛川支部　衛藤　佳也

白バイが笑顔で招き切符切る　愛川支部　渡辺　信之

共同墓所
秋の墓前祭
10月23日(火)11時南葉山霊園

自動車共済は年齢別掛金を導入していません
加入者の立場でつくられた　全労連・自動車共済
各支部への出張見積り会・FAX見積りも受け付けています
まずはお見積りを！
お見積り・資料請求は　神奈川労連　共済担当　永田まで
TEL:045-212-5855 FAX:045-212-5745 携帯:090-5197-6748